

ITS年次レポートの遍歴 (巻頭言～特集)

2007年版～2023年版

表紙	巻頭言	序章 ITSの潮流	年次版特集
2007年版 			
2008年版 			
2009年版 		<p>新設</p> <p>ITSのこれまでの取り組みを振り返り、IT新改革戦略に掲げた「世界一安全な道路交通社会」の実現に向けた今後のITSプロジェクトのロードマップを「ITSの潮流」として掲載した</p>	
2010年版 		<p>ITSの変化の要点が的確につかめるように、その年の内容を充実させた</p> <p>1.概説 2.地球温暖化対策とITS 3.海外のITSの状況 4.今後の取り組みの視点</p>	
2011年版 	<p>新設</p> <p>従来、「はじめに」として掲載していたものを、ITSの変化をITS Japanからのメッセージとして発信するために、会長による巻頭言として掲載した</p>	<p>1.背景 2.世界の動き 3.ITSを取り巻く環境の変化 4.地球温暖化対策とエネルギー 転換 5.情報ネットワーク型社会の進展 6.モビリティの確保 7.国際活動 8.東日本大震災から学ぶこと</p>	
2012年版 	<p>2012年版では、2011年版を踏襲しITSへのメッセージ性を高めて、2013年世界会議を意識したITSの役割について、会長の巻頭言として掲載した</p>	<p>1.産業のグローバル化 2.地域に根ざしたシステム 3.総合的取り組み</p>	<p>新設</p> <p>2012年版より、従来第7章としていた特集を最初に移動し、年次版特集として、その年次のITSについて特徴的な内容に焦点をあてて解説するようにし掲載した</p> <p>・2012年版： I. ITS国際連携の発展について II. 地域や産業におけるITSの役割 III. 第20回ITS世界会議東京2013開催に向けて</p>
2013年版 	<p>2013年版では、2012年版を踏襲しITSへのメッセージ性を高めて、2014年世界会議を意識したITSの役割について、会長の巻頭言として掲載した</p>	<p>1.グローバルなITSの動向 2.ITSを取り巻く技術の進展 3.社会的変化 4.今後の取り組み</p>	<p>2013年版： I. ITS世界会議 ①ITS世界会議とはこんな会議 ②第20回ITS世界会議東京2013 II. 新交通物流特別委員会の成果</p>

ITS年次レポートの遍歴

(巻頭言～特集)




2007年版～2023年版

表紙	巻頭言	序章 ITSの潮流	年次版特集
	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」として進めることとした</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITS 20年の歩み 2. 技術革新と社会環境の変化 3. 次世代ITSプロジェクトの始動 4. ITS世界会議に見る欧米の動き 5. 東京オリンピック・パラリンピックを契機とした次世代システム実用化 	<p>I. 第20回ITS世界会議東京2013が拓く次世代ITS —Open ITS to the Next—</p> <p>I-① 第20回ITS世界会議東京2013開催概要</p> <p>I-② ITS世界会議20周年記念企画 (欧・米・アジア太平洋3極連携)</p> <p>I-③ ITS GREEN SAFETYの成果</p> <p>I-④ 地域から始まるオープンITS</p> <p>I-⑤ 国際交流・展開活動<ITSアジア太平洋活動></p> <p>II. ITSによる未来創造の提言 ～誰でも、どこでも快適に移動できる社会の実現～</p>
	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 我々が直面する課題への対応 3. ITSによる未来創造の提言 4. 地域の担い手が支える次世代のITS 5. ITS Japanの今後の取組み 	<p>・2015年版:</p> <p>I. 自動運転の世界動向</p> <p>II. SIP-adus におけるITS Japan の活動</p>
	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 欧州の動向 3. 米国の動向 4. ITS Japan第3期中期計画 5. まとめ 	<p>・2016年版:</p> <p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ITS推進に向けた着眼点 2. さまざまな地域の状況とそこで行われている取組みの例 3. 地域のありたい姿とITSとしての取組み 4. ITS推進への期待
	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した。 (佐々木会長として初めての巻頭言)</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. はじめに 2. 世界が注力するITSの主要テーマ 3. 欧州の動向に見るグローバル戦略 4. 産業構造の大革命 5. まとめ 	<p>・2017年版:「ITSによる安全・安心で活力ある社会」の実現を目指して</p> <p>はじめに</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. TIS Japan第3期中期計画の概要 2. 各テーマへの取組み 3. TIS Japan第3期中期計画から見た世界の動き 4. おわりに
	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. イノベーションの連鎖による自動車の発展の歴史 2. ITS・電子・情報技術によるイノベーション 3. 新たな技術革新の波と社会変革 4. 自動運転の実用化の課題 5. 自動運転の実用化による社会的課題解決への期待 6. 欧州の戦略的取組み 7. 産業や社会お構造変化 8. 目指すべき社会 	<p>・Mobility as a Service 「統合的移動サービス」の実現～</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. Mobility as a Serviceとは 2. Mobility as a Service背景 3. MaaS Allianceによるけん引 4. Mobility as a Serviceの仕組み 5. フィンランドの状況 6. Mobility as a Serviceに関連する論点 7. MaaSの広がり 8. Mobility as a Serviceを支える情報基盤 9. ビックデータの収集と活用事例 10. 情報基盤の事例 11. 情報基盤に求められる要件 12. 統合的移動サービスの実現に向けて 13. 最後に
	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技術革新と社会変革 2. 自動運転実用化の課題 3. 統合的移動サービス“MaaS”実用化の課題 4. “Society 5.0”を実現するために 	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITSの変革 2. ITS Japanの役割と取組み <ol style="list-style-type: none"> 2-1. 災害時情報提供取組み 2-2. 道路空間情報関連の取組み 2-3. ETC民間利用 3. 統合的移動サービスの実現に向けて コラム: 都市交通の革新— —ITS世界会議コペンハーゲンにみる Mobility as a Serviceの進展—
	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 技術革新と社会変革 2. ITS Japan第3期計画の取組み 3. 産業競争力の向上、能力・意欲の発揮 4. 人々の価値創造と社会的課題の解決に向けて 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第3期中期計画(2016年度～2020年度)の考え方・アプローチ 2. 第4期中期計画における注視すべき課題 3. 第4期中期計画のスコープ 4. ITS Japanの役割と今後

ITS年次レポートの遍歴

(巻頭言～特集)

2007年版～2023年版

<p>2021年版</p> 	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. 自己実現と多様性 2. 国の政策における人々の豊かさや幸福の追求 3. 自動車を取り巻く技術革新 4. デジタル・トランスフォーメーション 5. カーボンニュートラル 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第4期中期計画概要 2. 第4期中期計画の検討経緯 3. ITS Japanの役割
<p>2022年版</p> 	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITSの経緯 2. ITS Japanの第4期中期計画 3. 昨今の変化点 4. 日本のITSがこれから考えていくべきこと 	<ol style="list-style-type: none"> 1. 第4期中期計画の目指すべき姿 2. 価値ある移動とは何か？ 3. 個人の価値の実現と社会的課題の解決を両立させる取組みを考える～ケーススタディ～ 4. 価値ある移動のモチベーション向上、移動バリューチェーンの創出に向けて 5. 最後に
<p>2023年版</p> 	<p>2014年度の印刷版のコンセプトはそのまま、分冊化を目指した資料篇を「電子版による過去の『日本のITS』の収録」としてホームページに掲載した。</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITSの経緯とITSの視点の変遷 2. ITSのグローバル動向 3. 日本における変化点・動向 4. ITS Japanの地域活動 5. 日本におけるITSの俯瞰 <p>* 付録:ITS全体俯瞰図</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1. ITS Japanの地域交流活動 2. 政府の公共交通政策 3. 地域の取組み動向 4. ITS Japanの活動から得た考察 5. まとめ